



「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2024 への後援名義使用のお願い

一般社団法人 全国公私病院連盟
会長 邊見 公雄 様

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2023 の後援名義を頂き、誠にありがとうございました。

さて、今年も、来る 12 月 8 日（日）19:00 より、「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2024 をサントリーホール「大ホール」で開催し、医療従事者の皆様、患者とその家族の皆様、及び本イベントに賛同する一般人の皆様をご招待させていただきます。

尚、同日に開催する「癒しと安らぎの環境」コンサートはお子様や障害をお持ちの方にもお楽しみ頂けるコンサートです。収益金は、医療従事者の皆様への支援に繋がるよう寄付させていただきます。また、各国の研究所、大学、病院等と連携を図り、医療従事者の研修や留学をサポートする支援事業を行って参ります。

つきましては、今年も引き続き、後援名義のご承認を頂けますようお願い申し上げます。
「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2023 の冊子、及び、昨年の事後報告記事を掲載した見本誌を同封致しましたのでご覧下さい。

お忙しい中、誠に恐縮でございますが、9 月 30 日（月）迄に可否のご返信をお願い申し上げます。ご検討のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

2024 年 8 月 吉日

集中出版株式会社 代表取締役
「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2024
代表 尾尻佳津典

【お問合先】 「癒しと安らぎの環境」フォーラム 事務局
住所：〒107-0052 東京都港区赤坂 3-5-5 ストロング赤坂ビル 6F（集中出版内）
電話：03-4500-1276 FAX：03-6800-3556 Email: kaku@medi-con.jp

～ 記 ～

1. 事業名：「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2024
2. 主旨：アートや音楽等を取り入れ、人や環境への優しさを配慮するなど、より良い環境作りについて熱心に取り組む優れた日本の医療施設を顕彰する。
また、本賞授賞式同日に、医療従事者、医療関係企業、及び、患者等を招待し「癒しと安らぎの環境」コンサート（The Art in Hospital Concert）」を開催する。
3. 主催：「癒しと安らぎの環境」フォーラム実行委員会
共催：「日本の医療の未来を考える会」/ University Cambridge Japan Consulting Supervisor
4. 事業開催期間 2024 年 12 月 8 日（日）
5. 事業開催場所 サントリーホール「大ホール」 〒107-8403 東京都港区赤坂 1-13-1
6. 名義等の使用予定
 - ① 集中出版 HP 内のフォーラム案内ページへの記載
 - ② 当日配布用パンフレットの最終ページへの記載（去年の見本をご参照下さい）
 - ③ 『集中』2025 年 2 月号（1 月末発行）事後報告記事への記載（去年の見本をご参照下さい）
 - ④ 集中出版のメルマガ、及び、「PR TIMES」への記載
 - ⑤ YouTube「集中チャンネル」でのアーカイブ配信時（2025 年 2 月から 6 カ月間配信予定）に、動画説明欄への記載

※2023 年に使用した後援名義

厚生労働省/毎日新聞社/（一社）全国公私病院連盟/（公社）全国国民健康保険診療施設協議会/（公社）全国自治病院協議会/（公社）全日本病院協会/（特非）地域医療・介護研究会 JAPAN/（公社）東京都医師会/（公社）日本医師会/（一社）日本音楽療法学会/（一社）日本介護事業連合会/（公社）日本看護協会/（公社）日本産婦人科医会/（公社）日本歯科医師会/（一社）日本病院内/（一社）日本病院薬剤師会/（医）輝生会初台リハビリテーション病院/（公財）結核予防会複十字病院/（国研）国立精神・神経医療研究センター/（医）直源会相模原南病院・相模原南病院介護医療院/市立芦屋病院/（医）西福岡病院/日本赤十字社古河赤十字病院/（一財）脳神経疾患研究所附属総合南東北病院/（宗）立正佼成会附属佼成病院/ウクライナ大使館/コロンビア大使館/スーダン共和国大使館/スロバキア共和国/セーシェル共和国名誉総領事館/中華人民共和国大使館/ドミニカ共和国大使館/東ティモール大使館/ボツワナ大使館/ボルトガル大使館/ニカラグア大使館/マリ共和国大使館/ミャンマー連邦共和国大使館/モルディブ共和国大使館/モロッコ王国大使館/ヨルダン大使館

返信フォーム

FAX : 03-6800-3556 Email : kaku@medi-con.jp

〆切 : 2024 年 9 月 30 日（月）

本団体の後援名義使用について：
承諾します / 承諾しません

団体名： 一般社団法人 全国公私病院連盟

担当者名：

担当者役職：

TEL： E-mail（必須）：

2023

「癒しと安らぎの環境」フォーラム2023

Forum On Healing Environments
～ The Art In Hospital ～

2023.Dec.17

サントリーホール「大ホール」



写真は2018年『集中』創刊10周年企画
「癒しと安らぎの環境」コンサート開催時

集中

M E D I C A L C O N F I D E N T I A L

Forum On Healing Environments 2023

癒しと安らぎの環境賞

「癒しと安らぎの環境賞」の趣旨：

医療・福祉施設等へアート（美術や音楽や癒しの活動等）を取り入れ、人や環境への優しさを配慮することにより、その施設が癒しと安らぎの場になって欲しいと願い、2002年、当時、日野原重明先生を名誉会長、岩崎榮先生を会長として、高久史麿先生、写真家の稲越功一氏、建築家の安藤忠雄氏、東京大学教授の長澤泰先生、オペラ歌手の佐野成宏氏、尾尻佳津典ら20名の実行委員と共に開始。この活動を普及させ施設の質の向上を図るために「癒しと安らぎの環境賞」を設け、優れた医療・福祉施設を顕彰しています。

「癒しと安らぎの環境賞◎2023」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



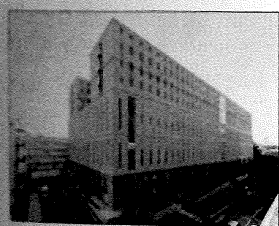
日本赤十字社 栃木県支部 足利赤十字病院

「患者の負担を軽減するワンストップ外来を導入。受付から診察・会計まで各ブロックの受付基点で完結。また、快適な療養環境を提供する為に全病床個室にし、多床室で発生する感染、臭い、プライバシーの問題を解決。環境に配慮し、地下水を活用するヒートポンプシステムの整備、風力発電、太陽光発電等、クリーンエネルギーを積極的に採用。また、病院の敷地と周囲を取り囲む公園の堺には塀を設けず、散歩する患者やその家族、地域住民が双方を気軽に行き来出来る、地域に開かれた病院を実現。こうした活動に対して顕彰」



地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

「中核病院として地域医療を担う官民統合病院。患者や家族の療養生活に少しでも癒しの空間を提供したいという願いから、院内には国内外の絵画、書、陶器、秀逸な美術作品を多数展示。家具は地元・三重産のスギ等を使用し地域へ貢献する。院内に設けたキッチンスタジオは、管理栄養士による糖尿病、減塩、肝臓病の食事指導や、嚥下指導を開催。講義から実際に調理・試食まで出来る。24時間体制の院内保育園を設置し職員の子育てを支援、家族の介護が必要な職員への支援制度も整え、職員の働きやすい環境を提供する。こうした活動に対して顕彰」



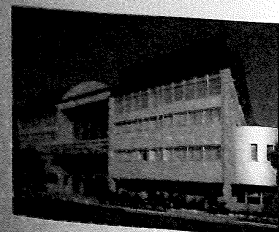
学校法人慶應義塾 慶應義塾大学病院

「『慶應義塾の杜』をコンセプトに、癒される色調やデザインに工夫を凝らす。診療科の枠を越えて連携するクラスター診療を採用し、患者を各診療科に導く『メディカルストリート』と『ホスピタルモール』を設置。木漏れ日を表した間接照明、樹形のモチーフ等を用い、安らぎが感じられる空間に。又、外来の各所に寛げるラウンジ、診療前確認から会計までを行うブロック受付を設置する等、患者に快適な環境を提供。他職種・部門の教職員や学生が交流出来るスペースも設け、連携促進や人材育成を行いやすい環境を整備。こうした活動に対して顕彰」



医療法人真栄会 にいむら病院

「泌尿器疾患治療で地域医療に携わり、ダヴィンチサージカルシステム手術で全国トップクラスの症例数を誇る。先端医療の提供と共に、イギリスの工業デザイナー ウィリアム・モリスのテキスタイルデザインを採用した新棟『モリス館』を増築し、アートによる心理的ケアにも取り組む。館内には、受付、通路等の共用部に限らず、手術室や病室等、至る所に自然界のものをモチーフにしたヒーリングアートが点在する。患者と家族、ここで働くスタッフに癒され安らげる空間を見事に融合させた環境を提供。こうした活動に対して顕彰」



医療法人横浜平成会 平成横浜病院

「地域の患者の疾病ニーズにきめ細かく応える為に多数の診療科を備え、総合診療を設ける等、地域多機能型病院を実践。2018年に最新医療機器を備えてリニューアルした健診総合センターは、予防医療の最新知見を取り入れた人間ドックコースを提供。ロッカールームやラウンジ、計測・生理検査・診察の各エリアは男女別に配慮し、管理栄養士と専任シェフが協同で考えたメニューを提供するビュッフェ形式の健康レストランも備える。職員の為に保育士が常駐する無料託児室を設ける等、快適で安心出来る環境に取り組む。こうした活動に対して顕彰」

Forum On Healing Environments 2023

集中医療大賞 —◎

「集中医療大賞」の趣旨：

世界に誇る高度な医療を提供している日本。全国各地で必要な時に受診出来ることが当たり前と思える日本の医療は、日夜、医師を始めとする医療従事者の献身的な働きによるものです。私達は、これをきちんと認識し感謝の意を込めて「集中医療大賞」を設け、毎年1回顕彰しています。

また、医療の確保が困難なへき地医療の質の向上のために、長きに亘り献身的に貢献されている医療従事者への敬意を込め「集中医療大賞・高久史磨特別賞」を同時に顕彰しています。

「集中医療大賞◎2023」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



尾身 茂／公益財団法人結核予防会 理事長

「慶應義塾大学で法学を、自治医科大学で医学を学び、感染症・国際保健の専門家として日本を代表し世界保健機関で大活躍。西太平洋地域のポリオ根絶を指揮した。又、SARSや、COVID-19のパンデミック下で陣頭指揮し重責を果たした。医療を通じて多大な貢献をした事を顕彰」



草野 敏臣／医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長

「肝切除を中心とした領域の外科手術の名医として活躍。胆管癌外科治療に於いて多くの症例を残した。輝かしい多数の論文発表で後進指導に大きく貢献した。現在、医療法人理事長として多くの患者に高度な医療を提供。医療を通じて多大な貢献をした事を顕彰」



堤 治／医療法人財団順和会 山王病院 名誉病院長

「生殖医療全般を担い、不妊治療の専門家として多数の論文を発表。妊娠・出産の喜びを広く発信し、女性の医療知識向上に向け講演をし、少子化対策に大きく貢献をした。元東宮職御用掛として雅子妃殿下のご出産を担当。医療を通じて多大な貢献をした事を顕彰」



中林 正雄／社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター愛育病院 センター所長

「糖尿病から母子を守る。その理念の下で、献血者全員の糖尿病スクリーニングを導入するなど妊産婦の安全を確保しつつ、快適性を向上させ、日本の少子化対策に大きく貢献した。愛育病院では秋篠宮妃殿下の出産をご担当。医療を通じて多大な貢献をした事を顕彰」



吉村 泰典／学校法人慶應義塾 慶應義塾大学 名誉教授

「周産期医療や生殖医療の専門家として5,000例を超える出産に立ち会う。内閣府参与の重責を担い、女性、妊婦、赤ちゃんに優しい社会を作る為に奔走。世の中の環境作りに取り組み、日本の少子化対策に大きく貢献をした。医療を通じて多大な貢献をした事を顕彰」

「集中医療大賞◎高久史磨特別賞2023」



今 明秀／八戸市立市民病院 事業管理者

「へき地医療に40年の医師人生を捧げ続ける。若手の頃に経験した『目の前の患者の死』を忘れず、へき地医療に必要な救急医療を習得し続け、その技術を後進へ指導する。一人何役を担う。八戸市民に期待され病院長の職に就く。医療を通じて多大な貢献をした事を顕彰」

「癒しと安らぎの環境」フォーラム

Forum on Healing Environments ～ The Art in Hospital ～

【趣旨】

「癒しと安らぎの環境」フォーラムは、優れた「医療・福祉施設」及び「癒しと安らぎの環境」作りを目的とした活動（以下・「癒しの活動」と言う）を「癒しと安らぎの環境賞」として顕彰し、それを広く世に知らせる事によって、「医療・福祉施設」及び「癒しと活動」の質の向上を図る事を目的として定めるものである。

※本活動は2002年に、日野原重明先生を名誉会長、岩崎榮先生を会長として建築家の安藤忠雄先生、写真家の稲越功一氏、東京大学教授（建築学）の長澤泰先生など20名のメンバーと共に開始致しました。医療情報誌・月刊『集中』は、2008年の創刊より、誌面企画「Art In Hospital」として、癒しと安らぎの環境を提供している優れた医療施設を取り上げ紹介する活動を継続し、2018年創刊10周年を機に「癒しと安らぎの環境賞」の顕彰を実施しています。

【活動】

医療情報誌・月刊『集中』誌面企画「Art In Hospital」にて毎号優れた施設を紹介
「癒しと安らぎの環境賞」の顕彰
「集中医療大賞」の顕彰
「癒しと安らぎの環境」コンサートの開催

【主催】

「癒しと安らぎの環境」フォーラム実行委員会

【共催】

日本の医療の未来を考える会
University Cambridge Japan Consulting Supervisor

月刊
集中
M E D I C A L C O N F I D E N T I A L
DATA BANK



University Cambridge Japan Consulting Supervisor

「癒しと安らぎの環境」フォーラム実行委員会

【設立時のご挨拶】

「癒しと安らぎの環境」フォーラムは、医療施設など(病院、クリニック、ホスピス、介護保険施設)へ、アート(美術や音楽など)を取り入れることにより、その施設が癒しと安らぎの場になって欲しいと願い、立ち上げるものです。

医療施設等は、ともすれば機能に重きを置くばかりに、入院患者の方々にとっては無味乾燥な環境になりがちです。しかし、近年ようやく、クオリティー・オブ・ライフ(QOL)が重視されるようになり、医療施設等の環境も、患者の方々にとって、癒されるあるいは安らぎを得られる場であるべきではないか、とう意識が醸成されつつあります。

このフォーラムの中では、「癒しと安らぎの環境賞」を設け、そのような活動をされている施設を顕彰させて頂くことを通じて、情報交換の場をご提供し、この活動を普及させて参りたいと考えております。みなさまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



癒しと安らぎの環境フォーラム 実行委員会
名誉会長

日野原重明

日野原重明(聖路加国際病院理事長)



癒しと安らぎの環境フォーラム 実行委員
委員長

岩崎 榮

岩崎榮(日本医科大学常務理事)



【理事 50音順】

麻倉 未稀／歌手

安藤 忠雄／建築家

生島 ヒロシ／フリーアナウンサー、学校法人梅檀学園 東北福祉大学 客員教授

榎本 了壺／アートディレクター、学校法人大正大学 表現学部長・教授、株式会社アタマトテ・インターナショナル 代表

門脇 孝／日本医学会 第8代会長、国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長

幸田 正孝／元厚生事務次官、一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 顧問

佐野 成宏／オペラ歌手

徐 志敏／日本正大光明企業合同会社 社長

Joseph Ibanez／University Cambridge Japan Consulting Supervisor 共同代表

田辺 功／元朝日新聞編集委員、株式会社ココノツ 非常勤取締役特別顧問

辻口 博啓／「モンサンクレール」オーナーパティシエ、株式会社スーパースイーツ 代表取締役

長澤 泰／国立大学法人東京大学 名誉教授、学校法人工学院大学 名誉教授、一般財団法人ハビネスライフ財団 理事長

原田 義昭／元環境大臣、弁護士

三ッ林 裕己／衆議院議員、元内閣府副大臣、衆議院議員運営委員会理事

南 裕子／公立大学法人神戸市看護大学 学長、公益社団法人日本看護協会 元会長

【癒しと安らぎの環境賞】

「癒しと安らぎの環境賞」は、癒しの活動に熱心に取り組む医療・福祉施設を対象にし、集中出版が取り上げた優れた医療機関、及び、応募（自薦・他薦）のあった医療・福祉施設の中から毎年顕彰することを通じて、情報交換の場を提供し、この活動を普及してまいります。

医療情報誌・月刊『集中』は、この活動を創刊号から連載企画「Art In Hospital」として継続し、この活動に熱心に取り組む医療・福祉施設を紹介しています。



【集中医療大賞】

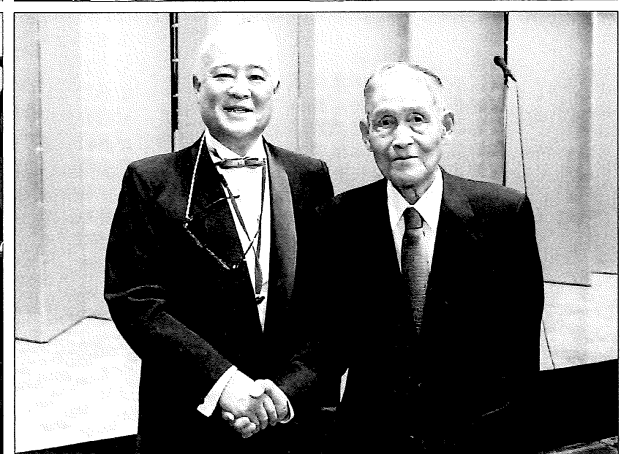
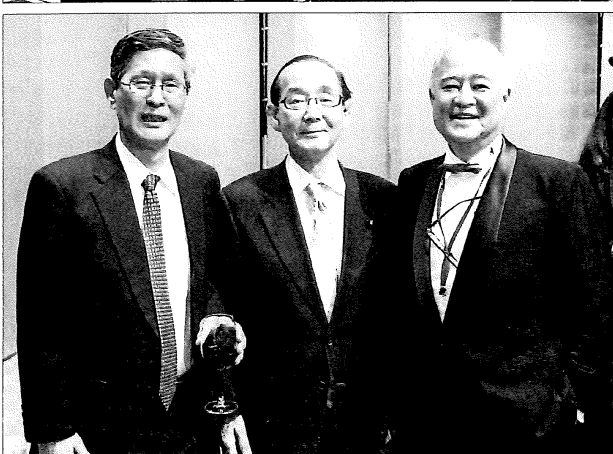
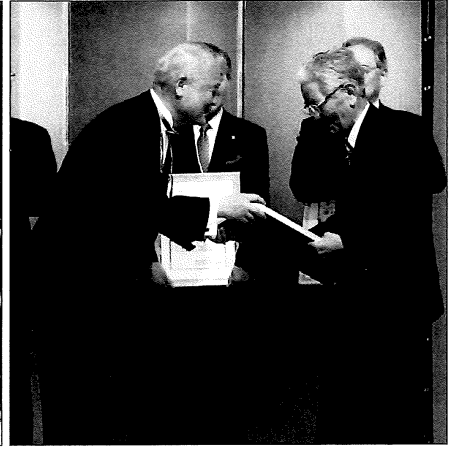
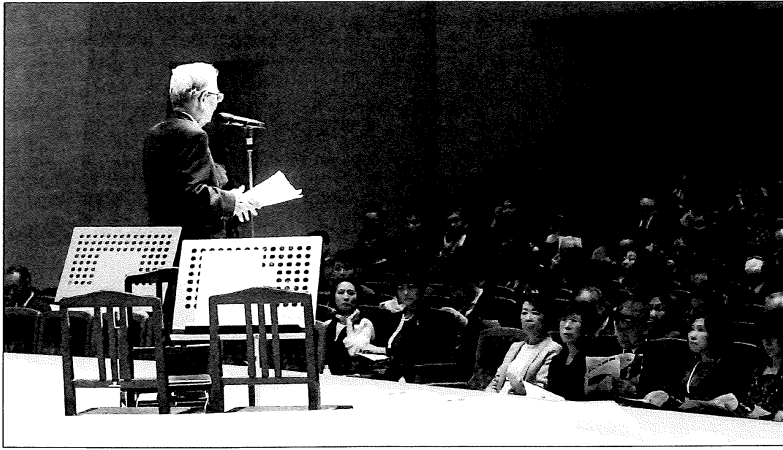
【集中医療大賞 高久史磨特別賞】

医療情報誌・月刊『集中』は、2008年の創刊より、医療界を牽引する、医療従事者を毎号誌面で紹介しています。

「集中医療大賞」は、医学・医療を通じて社会に多大な貢献をされている医療従事者に敬意を込め、毎年その功績を称え顕彰しています。

また、「集中医療大賞 高久史磨特別賞」は、特にへき地医療に貢献された医療従事者への敬意を込め同時に顕彰しています。





「癒しと安らぎの環境」コンサート

The Art In Hospital Concert

「癒しと安らぎの環境」コンサートは、医療従事者、患者を対象に、院内、コンサートホール等で、随時開催を致します。医療機関からの要望があれば、随時対応を致します。

本コンサートは「癒しと安らぎの環境」フォーラムの一環として、毎年2回開催しています。

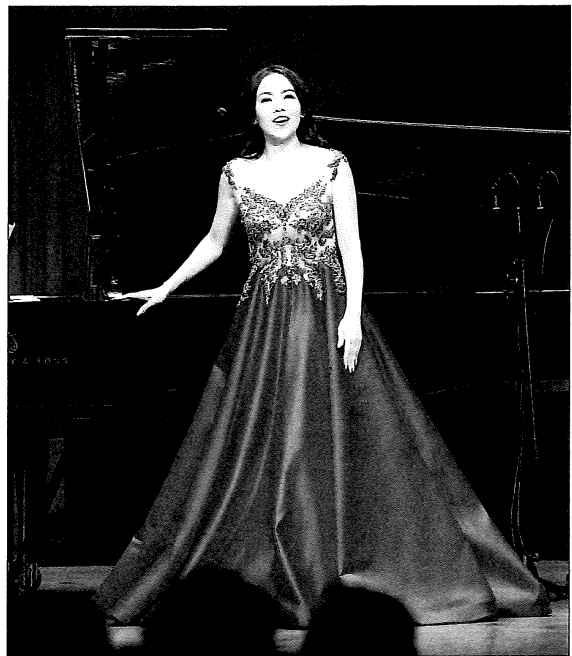
※ 2020 年、2021 年は新型コロナウイルスが拡大し緊急事態宣言が発動された為、無観客で開催。収録を YouTube 配信致しました。

【直近の実績（2018 年～）】

- 2018 年 2 月 28 日 サントリーホール・大ホール
出演：佐野成宏 (T) 北野智子 (S) アンサンブル・ミノープル
- 2019 年 6 月 18 日 サントリーホール・ブルーローズ
出演：佐野成宏 (T) 佐藤正浩 (Pf)
- 2020 年 1 月 4 日 新春コンサート アークヒルズクラブ
出演：佐野成宏 (T) 田中健 (Pf)
- 2020 年 11 月 5 日 サントリーホール・大ホール
出演：佐野成宏 (T) 森麻季 (S) 山岸茂人 (Pf)
益子悠 & ステラ・オーケストラ (室内アンサンブル)
- 2021 年 5 月 30 日 サントリーホール・ブルーローズ
出演：佐野成宏 (T) 林美智子 (M-s) 高橋洋介 (Br) 河原忠之 (Pf)
- 2021 年 12 月 10 日 クリスマスコンサート サントリーホール・ブルーローズ
出演：佐野成宏 (T) 森麻季 (S) 山岸茂人 (Pf)
- 2022 年 6 月 26 日 オールディーズコンサート 六本木ケントス
出演：THE FLAMES
- 2022 年 12 月 17 日 クリスマスチャリティーコンサート サントリーホール・大ホール
出演：佐野成宏 (T) 森麻季 (S) 林美智子 (M-s) 山岸茂人 (Pf)
- 2023 年 6 月 25 日 オールディーズコンサート 六本木ケントス
出演：THE FLAMES

※略語の記載について T：テノール、S：ソプラノ、M-s：メゾソプラノ、Br：バリトン、Pf：ピアノ





2018



「癒しと安らぎの環境賞◎2018」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



医療法人社団 KNI 北原国際病院

「北原茂実理事長は『医療はアート』と考え、自らがデザインし、調度品を選び、心癒される環境作りを目指し、随所に、患者の緊張や不安を和らげる工夫を凝らすなど、心配りが行き届いた院内環境を作り上げている。こうした癒しと安らぎの空間作りの活動に対して顕彰する」



医療法人社団こころの会グループ タカハシクリニック

「患者の社会復帰を促す精神科クリニックとして、様々なプログラムを取り入れ、治療効果を上げる為に高橋龍太郎理事長が個人所有する現代アート約2000点の『高橋コレクション』を院内に配し、患者の心を癒す環境を作り上げている。こうした癒しと安らぎの空間作りの活動に対して顕彰する」



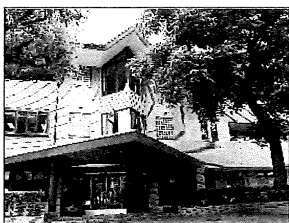
一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりハビリテーション病院

「広い空間、カラフルな色調、新鮮な空気的环境下で訓練を行う屋上ガーデンなど、患者が気持ち良くリハビリを継続出来る院内環境を作り上げた。また、職員寮を院内の複数階に設置し、医療従事者にも配慮し、働きやすい環境作りにも取り組んでいる。こうした癒しと安らぎの空間作りの活動に対して顕彰する」



茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院

「医療と地域社会の融合をコンセプトに、藤原秀臣名誉院長の造語『メディカル・エコタウン』を掲げ、敷地内を市民の交流の場とした。また、小児医療センターではキャラクターイラストをふんだんに使い、子供らが安らげる療養環境を整える工夫をしている。こうした癒しと安らぎの空間作りの活動に対して顕彰する」



社会福祉法人キングス・ガーデン 東京練馬キングス・ガーデン

「『楽しみと喜び』をもって生活ができる場として、介護を通じ入所者の満足度を高める為に様々な院内デザインを変更し、また、一人一人がゆっくりと楽しめるように、お風呂を『個浴』にし、『青森ヒバ』の木製家庭浴槽を導入するなど、より良い環境作りに取り組んでいる。こうした癒しと安らぎの空間作りの活動に対して顕彰する」



「集中医療大賞◎2018」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



小松本 悟／日本赤十字社 足利赤十字病院 院長

「強いリーダーシップを発揮し、多くの難題を乗り越え、新病院の建設と移転を成し遂げ、医療を通じて多大な社会貢献をされた。その功績に対して顕彰する」



近藤 達也／独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事長

「『より有効で、より安全で、より早く』を掲げ、課題だった審査期間を改善し世界最短を成し遂げ、医療水準の向上を患者満足度の向上に果たし、医療を通じて多大な社会貢献をされた。その功績に対して顕彰する」



高久 史磨／日本医学会 前会長

「日本医学会会長として、自治医科大学学長として永きに亘りその重責を担い、医療を通じて多大な社会貢献をされた。その功績に対して顕彰する」



横倉 義武／公益社団法人日本医師会 会長 世界医師会 会長

「日本医師会会長として世界医師会会長に推挙されました事は快挙であり、日本の医療界にとって大変な名誉です。日本医師会会長として医療界を牽引し、医療を通じて多大な社会貢献をされました。その功績に対して顕彰する」



吉新 通康／公益社団法人地域医療振興協会 理事長

「へき地医療を支えるための団体『地域医療振興協会』を自ら設立し、永きに亘り、へき地医療・地域医療の確保と質の向上に務め、医療を通じて多大な社会貢献をされた。その功績に対して顕彰する」

「集中医療大賞◎高久史磨特別賞2018」



原田 義昭／衆議院議員

「『日本の医療の未来を考える会』の設立発起人であり、国会議員団代表として当会を牽引し、医療の問題点等を自由闊達に議論し、当会の声を国政に届け、政治を通じて多大な社会貢献をされました。その功績に対して顕彰する」

2019



「癒しと安らぎの環境賞◎2019」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル

「篠原裕希理事長が自らの原点というクローバークリニック。湘南海岸に流れ入る境川沿いに建つホワイトブラウンの瀟洒な建物。一步、中に入るとベージュを基準とした温かな雰囲気のあるロビーが待ち受ける。グランドピアノが置かれたサロンではボランティアによる演奏会も開かれる。また、施設屋上からは富士山や江ノ島が一望出来るなど湘南ならではの贅沢な時間を味わうことが出来る。入居者へ故郷の味を提供する等の工夫が好評を得る。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



医療法人社団杏順会 越川病院

「入院患者のほとんどが末期のがん患者であり、越川貴史院長は、緩和ケア病棟はいい看取りをするだけでなく、在宅ケアに返す時代と話す。施設へのこだわりは強く、院内は落ち着いたダークブラウンに統一されている。複数の病室ではベッドに寝たままでベランダに出ることが可能だ。3階の談話室にはキッチンも有り、自ら、料理を作る事が出来ると好評だ。最後を迎えた患者は、30mの特別な廊下を厳かに進み正面玄関から家路に向かう。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

「地域のランドマークになるよう病院らしくない建物を目差した。自然の生命力を高めるために、壁面や廊下に南仏プロヴァンス地方の色使いを導入。緑色はオリーブ、黄色はひまわり、紫はラベンダーだ。ロビーは明るく開放的な空間になり、待合室に流れるBGMが患者の緊張を癒してくれる。また、働く職員にとっても気持ちの良い空間にしたいと広々としたレストランや更衣室、保育施設を設け、カフェでは早朝より焼き立てのパンの香りに引き込まれる。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



国立大学法人 千葉大学医学部附属病院

「亥鼻キャンパスは千葉市街を一望出来る高台に建ち、ホテルのような外観を持つ。明るく前向きな気持ちで受診して欲しいとの考えからホテルのような設計を要望した山本修一院長。大きなガラス面から差し込む陽光は患者に居心地の良さや安心感を与える。外を見ると季節の花を愛でる事が出来る緑化スペースが広がる。2階の休憩スペースにはピアノがあり、千葉大生やボランティアによるコンサートが開かれる。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



公益社団法人地域医療振興会 東京北医療センター

「小児医療と周産期医療に力を注ぐ当院は、救急箱を手にした『あおばねくん』が迎えてくれる。施設面で特筆することは豊かな自然を生かしている事で、3階の屋上庭園は日当たりの良さと共に四季折々の自然を満喫することが出来る。小児病棟では、30平方メートルを超えるプレイルームが子供達を待ち受けている。また、全館併せて児童作家・安藤寿寿氏のほのぼのとした200点を超える作品が飾られており、患者の心を癒している。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



「集中医療大賞◎2019」受賞者・選考理由 (50音順敬称略)



天野 篤／順天堂大学医学部附属順天堂病院 心臓血管外科 科長 前院長

「順天堂医学部教授に就任後も膨大な数の心臓外科手術を行いながら後進の教育にも尽力。後に順天堂医院院長に就任。病院経営者として業績を向上させた。2016年には平成天皇の心臓外科手術を行い成功。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



北村 唯一／医療法人社団自靖会親水クリニック 院長 東京大学名誉教授

「縦横無尽に研究に取り組み、東京大学医学部泌尿器科第7代教授に就任。泌尿器科臨床の専門家とJCVウイルス学の研究者の顔を持つ。初めての拝診で平成天皇の前立腺がんを発見し、2003年に外科手術を行い成功。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



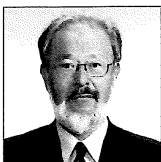
澤 芳樹／大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科 教授

「再生医療の先駆者として、日本再生医療学会理事長に就任。日本の再生医療が世界のトップとの評価を得る礎を築く。再生医療のリーダーとして認定医制度をつくるなどこの分野を牽引し、多くの患者に夢と希望を与える。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



炭山 嘉伸／学校法人東邦大学 理事長

「医学部、看護学部、歯学部、理学部、健康科学学部を有する大学理事長として国家試験合格で高い実績を上げ、教育の質と経営を向上させた。老朽化していた大橋病院を新築。新しい役割を持つ大学病院を誕生させた。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



邊見 公雄／公益社団法人全国自治体病院協議会 名誉会長

「赤穂市民病院院長に就任後、数々の改革を断行、市民が望む病院に変貌させ経営を改善。日病協議長、全日病会長として病院医療の舵取りを担い、診療報酬の改定に携わる。医療と教育が日本の科学技術立国には必須との論を持つ。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

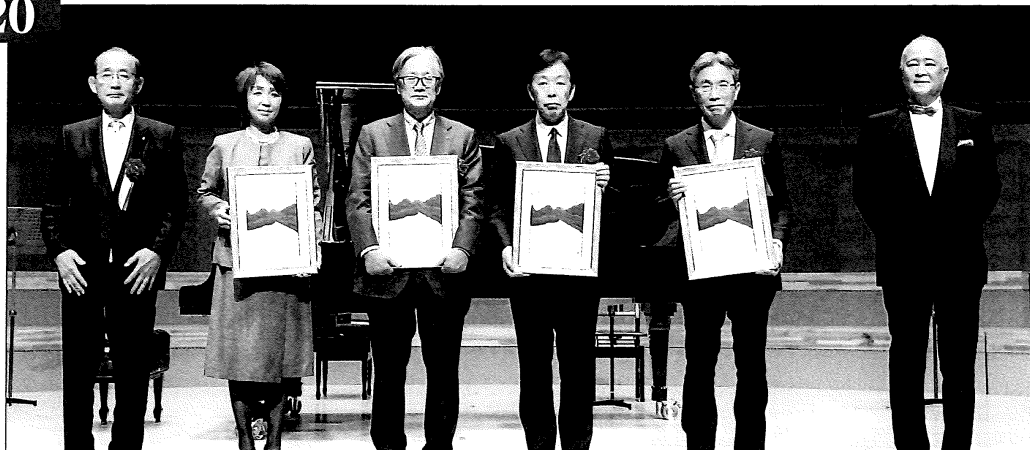
「集中医療大賞◎高久史磨特別賞2019」



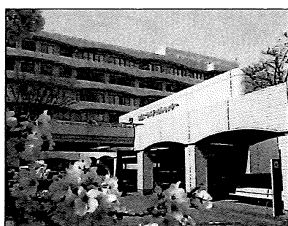
高橋 昭彦／ひばりクリニック 院長 認定特定非営利活動法人うりずん 理事長

「地域医療の確保と質の向上に取り組み、地域住民の生活に安心を届ける。また、NPO法人うりずんを立ち上げ、診療所を運営しながら重症障害児とその家族を支える活動に取り組み、障害児を持つ家族が普通に暮らすことが出来る社会を目差す。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

2020

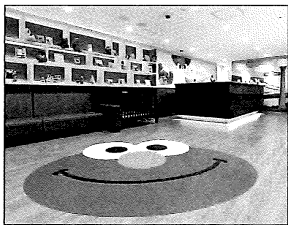


「癒しと安らぎの環境賞◎2020」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



北里大学メディカルセンター

「公園に隣接した緑豊かな病院は、ノーベル賞を受賞した大村智特別栄誉教授の『芸術は自然と一体となり人間を健全に導く』のコンセプトを重視。院内各所や記念館内に大村氏寄贈の絵画等1,700点余を中心にヒーリングアートを展開し、病院の域を超えるアート活動で地域住民との交流を図る。坂東由紀病院長が2014年に導入した「動物介在療法」等、様々な癒しを取り込む医療活動に対して顕彰する」



医療法人ナイズ キャップクリニック代官山 T-SITE

「日々の型通りの診療よりも健康リテラシーを掲げ、内科・小児科医療に取り組む事を決めた白岡亮平理事長は葛屋書店が経営する代官山の生活提案型商業施設内に開設した。その後、米国セサミストリートと直談判し、世界初の『セサミストリート・クリニック』の名称の使用権を得る。子供の心を理解する小児科を素晴らしい発想で成し遂げた。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



医療法人博仁会 志村大宮病院

「市内唯一の病院として1951年に開設。鈴木邦彦理事長の決断で掛かりつけ機能を中心としたリハビリと介護に特化する道を選択。『ドイツ館』『エーデルワイス病棟』の名称はユニークだ。また、中小病院は地域と運命共同体との考えから、職員有志のボランティア組織が空き店舗を活用し、子ども食堂や高齢者向け健康カフェ、朝市等、様々な展開。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



東邦大学医療センター 大橋病院

「炭山嘉伸理事長の指導の下、日本通運の跡地を取得。東邦大学創立90周年記念事業の一環として水と緑に囲まれたコンセプトの新病院を建設した。敷地の一部を目黒区に提供し公園と池尻大橋駅へ抜ける近道を作り、住民へ憩いの場と利便性を提供。住民の『オアシス』とも言える病院を目差した地域医療連携を推進、近隣クリニックとの関係は秀逸だ。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ

「名称の『キューブ(6面体)』は同院の提供する医療センターが6つある事を表す。エントランスは吹き抜けの天井で開放感満載だ。フロントはホテルのようであり、各フロアは間接照明を基本とし、暖色系の光は患者をリラックスさせる。黒川良望理事長の発想は医療を幅広く捉え、有名シェフ三國清三氏が監修する『ミクニマンスール』は人気を博す。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



「集中医療大賞◎2020」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



相澤 孝夫／社会医療法人財団慈泉会 理事長・一般社団法人日本病院会 会長

『24時間365日、全ての患者を受け入れる』の基本理念は長野県松本市民へ安心感を届け、徹底する『チーム医療』は多くの医療法人の手本となる。新型コロナウイルス感染拡大の中で日本病院会会長として医療界を牽引する。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



岩崎 榮／NPO法人卒後臨床研修評価機構 専務理事

「米国のACGMEを目差し卒後臨床研修評価機構を立ち上げ、卒後臨床研修審査を公平適正に行った。この評価は病院の研修内容の充実度を深めるとともに、研修医の進路選択の道しるべとなった。医療の質の改善と向上を果たす。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



岸本 忠三／大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授

「一貫して免疫学の研究に取り組み、インターロイキンを発見する。その後の研究でサイトカインに関するパラダイムを確立した。基礎と臨床を学び、研究者として多くの成果を上げ、同時に多くの研究者を育てた。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



細川 互／独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院 院長

「大阪大学悲願の形成外科診療科を創設し、初代の教授に就任。日本における形成外科の発展期を歩み、アメリカ形成外科学会名誉会員を取得するなど今日の形成外科の隆盛の礎を築いた。美容外科の健全化にも取り組む。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



幕内 雅敏／東京大学名誉教授 日本赤十字社医療センター 名誉院長

「世界の幕内と呼ばれ、一貫して肝臓外科医として24時間・365日、患者と向き合う。世界初の成人間の生体肝移植に成功。数々の新しい手術手法を発表し、『幕内基準』は世界中の肝臓外科医の手本として高い評価を得る。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

「集中医療大賞◎高久史磨特別賞2020」



齋藤 充／公益社団法人地域医療振興協会 女川町地域医療センター センター長

「女川町立病院長として再建中に東日本大震災に遭遇し、医療人として全霊を捧げて町の復興を目指す。地域医療の確保と質の向上に取り組み、地域住民の生活に安心を届ける。『そこにいて安心』の言葉を勲章と受け止める。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

2021



「癒しと安らぎの環境賞◎2021」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



医療法人和香会 倉敷スイートタウン

「前日本介護医療協会会長の江澤和彦理事長は、勤務医時代には救急医療に熱心に取り組み、年間240回の救急当直夜勤明けを続けた。介護事業にも積極的に取り組み、利用者の満足度を考え抜いた結果、自身で設計企画・外装・内装デザインや福祉用具の開発も担当し、施設を完成させた。カラオケ・シアタールーム・展望露天風呂も設置し『過去の生活にないことをどこまで現場で排除出来るか』をテーマに取り組む。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



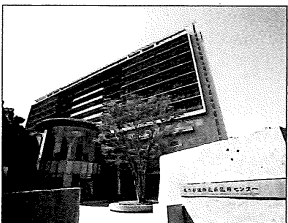
一般社団法人衛生文化協会 城西病院

「玉城成男理事長は、就任直後から病院機能の充実が当然の事として、地域に信頼される病院を目指した。常に患者満足を意識しソフト面の充実を計る。また、新築・移転を機にバイオリンや声楽、ピアノ連弾や弦楽四重奏などの『ホスピタリティーコンサート』を無料開催し、地域住民に良質の芸術文化を届け、町興しにも貢献する。一階ロビーにはドイツが誇るグランドピアノの名器『ベヒシュタイン』が飾られる。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



公益社団法人地域医療振興協会 台東区立台東病院

「明治44年に開院した吉原病院が元となるが、2009年に東京都23区で初の区立病院として開院。区内高齢者医療の受け皿として地域医療振興協会が運営を担う。山田隆司管理者は自治医科大学出身で僻地医療を長年担って来た。高齢者が和むように木材を多用し、至る所に広々とした空間を設ける。1階の吹き抜けのロビーも木材の温もりと開放感が印象的だ。また、地元住民も招きロビーコンサートなどを開催する。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

「渋谷栄一が58年間、事務長と院長として関わった養育院が源流にあり、2009年に独立行政法人として発足。病院として初めて新施設の計画段階からアート選考委員会を設置した。「生命とところ」をコンセプトに、全フロアー、全病室にアートを設置し、屋上庭園は患者や家族の心を和らげてくれる。また、公園と見間違ふほどの豊かな緑に囲まれ、桜並木の散策路も整備され、患者はもちろん地域住民にも憩いの場を提供する。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



東京都立小児総合医療センター

「緑豊かな武蔵野野の森から『森のホスピタル』をコンセプトに院内に様々な物語を展開する。入口には生命が宿る種をイメージしたドングリのオブジェがあり、各受付カウンターの横には動物のオブジェが置かれ、怖がる子供を優しく迎え入れる。外来ホールには、大きく成長した木のオブジェが置かれ、遊び場になっている。そして各病棟も子供が親しみを感じるよう『丘の◎番地』『森の◎番地』『空の◎番地』と称している。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



「集中医療大賞◎2021」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



大曲 貴夫／国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター長

「感染症学の専門家として、COVID-19発生以来、医療現場からの警告を発し、病院に広がる混乱を防ぎ、重症化のメカニズムを説明し、命を守る為に何が必要なのかを国民に丁寧に説明し、東京オリンピック開催にも尽力した。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



尾崎 治夫／公益社団法人東京都医師会 会長

「東京都医師会長として長きに渡り都民の健康を支え、COVID-19対策の先頭に立ち、国民に情報を発信し安心安全のために尽力した。東京オリンピック開催には疑問を呈すも、決定後は選手の健康に万全の対策を講じ大きく貢献した。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



西浦 博／京都大学大学院医学研究科・医学部 環境衛生学教授

「COVID-19発生直後より研究を開始し、厚生労働省のクラスター対策班を率いた。秀逸なデータ分析による発信情報は47都道府県の政策に反映され、その結果、国民の健康を守るコロナ対策が完成し、8割おじさんの名称を得た。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



福井 トシ子／公益社団法人日本看護協会 会長

「日本看護協会会長として看護師の抱える現状を把握し、広く情報発信し、その改善を行うと共に国民へ理解を求め、COVID-19発生時も、日本の医療を支える看護師を支えるために奔走した。その行動は国民の命を救う事に繋がった。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



森下 竜一／大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座教授

「大阪大学発創薬ベンチャー・アンジェス創業し、独創的な遺伝子治療の開発・実践を目指す。COVID-19に対する『日本製ワクチン』開発に挑み、世界初となるDNAワクチンに取り組み、日本の科学技術政策にも影響を与える。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

「集中医療大賞◎高久史磨特別賞2021」



奥野 正孝／三重県地域医療研修センター 元センター長

「自治医科大の助教授として学生に僻地等地域医療の重要性を説き、その後、自ら辞任して僻地・地域医療に邁進する姿は自治医科大学一期生の矜持を感じる。この人道的医療への使命感は住民の健康を守る最後の砦となる。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

2022

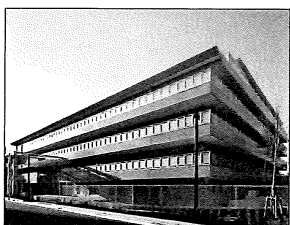


「癒しと安らぎの環境賞◎2022」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児医療センター

「順天堂大学は小児科医療に長い歴史があり、1968年に日本初となる小児外科学講座を立ち上げた。2021年には1号棟10階に広々とした『小児医療センター』を開設。子供の遊びや勉強を支える病院保育士や音楽療法士等が、子供の心配や苦痛を和らげる活動を行う。白を基調とした明るいプレールームにはカラフルな模様が子供達に安心感を与える。この部屋では人気の映面上映会や歌の会も行われ、子供と家族の心の問題もサポートする。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



医療法人平成博愛会 世田谷記念病院

「都内で人気の街・二子玉川に2012年に開設。イメージカラーの青が外壁を飾る外観はまるで高級マンションだ。292床全て個室となる病室が患者を受け入れる。『早く入れて早く帰す』を基本とする。長く続く白い廊下にはボランティアで活動する写真家の作品が並ぶ。病院である事を忘れるほどに美しい。中庭は開放感一杯で青と白が鮮やかだ。患者食堂兼談話室は一面白色で、大きな窓からは遙か遠くの山々が見える。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



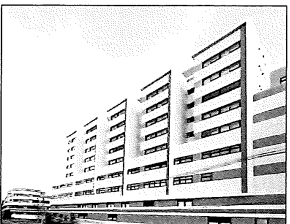
公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院

「2018年に大阪府の『江之子島地区まちづくり事業』として新築移転。『アートと医療の融合』のコンセプトを持ち、『心と身体の癒しを提供する。心地よい快適な病院』を目指し、四季折々の草花を楽しめる回遊式イングリッシュガーデン、患者や地域住民の憩いの場となるコリドー（通路）や焼きたてパンを提供するカフェが心を癒す。大阪府美術コレクションから借り受けた400点の作品はまるで画廊だ。多目的ホールでは音楽鑑賞会も開催。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



認定 NPO 法人 マギーズ東京

「日本では初となる、がん患者や家族が看護師ら専門職に無料で相談出来る、英国発祥の民間施設が2016年に開設。宿泊施設でもなく医療機関でもないが、がん患者の心を癒す開放的な空間や落ち着ける雰囲気を持つ場所として世界で20カ所ある。塩崎恭久厚労相（当時）や英国大使館関係者がテープカットをした。湾岸エリアに建ち、ゆっくりとした海風が疲れた心を癒してくれる。本館と別館の2棟の木材建築が周囲の緑とマッチする。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院

「幾層にも積層する建築と水平・垂直に通る壁面のグリーンラインが地域と病院の繋がりをイメージした外観は高級ホテルと見紛う。コンセプトは『病院らしくない病院』で表参道で人気のカフェが焼くパンの香りが、この場所を患者の癒しと憩いの場にする。病室はウッド調の間仕切りが落ち着いた空間を作り心地よい環境が生まれている。全ての場所がゆったりと作られ、曲線や間接照明が温かな雰囲気を醸し出す。こうした癒しの空間作りの活動に対して顕彰する」



「集中医療大賞◎2022」受賞者・選考理由（50音順敬称略）



門脇 孝／国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

「東京大学医学部第三内科出身者のリーダーとして全方位への配慮を行い、糖尿病学の権威として国内外に名を知られる存在は日本の財産でもある。糖尿病患者の治療に多くの可能性を見出して来た。今、患者中心の医療を掲げ、日本最高峰の1つである虎の門病院の院長として日々、奮闘する。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



竹田 晋浩／医療法人社団康幸会 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長

「COVID-19は世界中の医療・政治・経済を驚く程に混乱させた。医学会が未知との戦いをする中で命を救う最後の砦として大活躍したのがECMOだ。この操作困難なECMOを日本で最も知り尽くした医師として多くの命を救った。昨年受賞した内閣総理大臣賞に続き、今年はカロリンスカ研究所の名誉博士号を受賞する栄誉を受けた。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



南淵 明宏／昭和大学横浜市北部病院 循環器センター長・心臓血管外科 教授

「若い頃から最も難しいと言われる心臓外科手術を行う心臓外科医を目指した。それ以降、人知れぬ努力と数多くの手術を行い、ゴッドハンドの名称を得た。心臓外科の世界を縦横無尽に行動し、常に攻めの気持ちを持ち続け、多くの患者の命を救って来た。それらの実績が大学教授へと押し上げた。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



渡邊 剛／医療法人社団東京医心会 ニューハート・ワタナベ国際病院 総長兼理事長

「金沢大学医学部に入学した時から心臓外科医を目指し初志貫徹。困難な手術で人の命を救う事に生き甲斐を求め、ドイツで研鑽を積み、高い技術を得た。日々行う医療が高い評価を受けた。心臓外科医として最高の環境を求め、高度専門病院を設立。全国から来院する患者へ最高の医療を提供する。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



Ravindra Gupta／University of Cambridge Professor of Clinical Microbiology

「ケンブリッジ大学の若きエースは、巨大な研究棟で医学に取り組む。エイズ患者を寛解させたニュースは世界中を駆け巡り『ロンドンペイシエント』の名称が付いた。論文は世界中の患者を救う重要なツールだとCOVID-19でも数多くの論文を発表し、その結果、世界で最も論文が引用される研究者となる。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」

「集中医療大賞◎高久史磨特別賞2022」

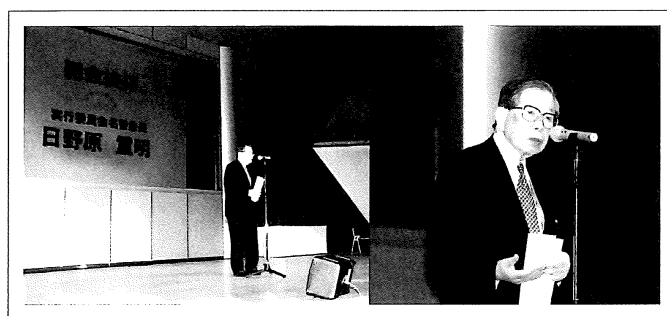


前川 恭子／萩市国民健康保険むつみ診療所 所長

「進路指導の先生から親の負担が無い自治医科大学を勧められ、諦めていた医師の夢が一気に開花した。学生時代から総合医を目指す。今、離島や山間地域の多い萩市で取り組む地域医療の醍醐味は人・患者さんと、診療回数を重ねる毎に人の濃さが見えると語る。皆が働き易い環境作りにも励む。医療を通じて多大な貢献をされた事を顕彰する」



▲ 2002年第1回「癒しと安らぎの環境」フォーラム受賞者の方々。



▲ 2002年第1回「癒しと安らぎの環境」フォーラム実行委員会 名誉会長 日野原重明先生の開会挨拶。

「癒しと安らぎの環境」フォーラム 2023

Forum On Healing Environments

【主催】

「癒しと安らぎの環境」フォーラム実行委員会

【共催】

「日本の医療の未来を考える会」

University Cambridge Japan Consulting Supervisor

【後援】

厚生労働省／毎日新聞社／（一社）全国公私病院連盟／（公社）全国国民健康保険診療施設協議会／（公社）全国自治体病院協議会／（公社）全日本病院協会／（特非）地域医療・介護研究会 JAPAN／（公社）東京都医師会／（公社）日本医師会／（一社）日本音楽療法学会／（一社）日本介護事業連合会／（公社）日本看護協会／（公社）日本産婦人科医会／（公社）日本歯科医師会／（一社）日本病院会／（一社）日本病院薬剤師会／（医）輝生会初台リハビリテーション病院／（公財）結核予防会複十字病院／（国研）国立精神・神経医療研究センター／（医）直源会相模原南病院・相模原南病院介護医療院／市立芦屋病院／（医）西福岡病院／日本赤十字社古河赤十字病院／（一財）脳神経疾患研究所附属総合南東北病院／（宗）立正佼成会附属佼成病院／ウクライナ大使館／コロンビア大使館／スーダン共和国大使館／スロバキア共和国／セーシェル共和国名誉総領事館／中華人民共和國大使館／ドミニカ共和国大使館／東ティモール大使館／ボツワナ大使館／ポルトガル大使館／ニカラグア大使館／マリ共和国大使館／ミャンマー連邦共和国大使館／モルディブ共和国大使館／モロッコ王国大使館／ヨルダン大使館

【特別協賛】

サントリーホールディングス株式会社

【協賛】

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社／MBM 株式会社／株式会社集中メディアプロ／デル株式会社／日本アイ・ビー・エム株式会社

集中

M E D I C A L C O N F I D E N T I A L